学校番号	213

令和８年度　地歴公民科

教科	地歴公民	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「わたしたちの歴史　日本から世界へ」改訂版（山川出版社）						
副教材等	「わたしたちの歴史　日本から世界へ 改訂版ノート」（山川出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１　テレビ・新聞等で時事問題を見聞きし、その原因について関心を持つ
２　授業が終われば、すぐにわたしたちの歴史ノートで復習する
３　授業で習った内容を様々なメディアで探究する

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	1 18世紀の世界とアジア	**①18世紀のアジアにおける経済や文化の発達と同時代のヨーロッパ諸国の対外進出との関係について考察する。 ②江戸時代の日本における産業の発達と全国市場の形成を、いわゆる「鎖国」体制と関連付けて考察し、理解する。**	a:・アジア産の世界商品がヨーロッパでどのように扱われていたかを理解できている。 ・大西洋三角貿易の構造を理解できている。 ・「鎖国」体制の形成過程を理解できている。 b:・18世紀のヨーロッパ人の中国観について資料をもとに考察し、表現できている。 ・貿易統制と産業発達の関係や全国市場の形成について考察し、表現できている。 c:・18世紀のアジアと日本の概況やヨーロッパとの関係について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	グループ協議やペアワークによる意見交換および発表・リアクションペーパー・レポートなどを総合的に評価
	2 産業革命	**①産業革命がイギリスにおける綿工業を中心とした技術革新から始まったことを理解する。 ②産業革命による工業生**	a:・産業革命がイギリスで始まったことを理解できている。 ・労働運動が発生する背景や労働者の要求を理解できている。 b:・資料や図版などから、産業			

		産の機械化･大規模化と世界の結びつきの変化について考察する。 ③産業革命による社会や暮らしの変化、民衆の反応について考察し、理解する。	革命による技術革新の連鎖や世界の結びつきの変化について考察し、表現できている。 ・資料や図版などから、工業化や都市化がもたらした問題や民衆の反応について考察し、表現できている。 c：・産業革命の過程と社会問題の発生について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	3 アヘン戦争と日本	**①18 世紀以降、日本近海に外国船が現れるようになった理由について考察する。 ②アヘン戦争のおきた原因と戦争後の中国の変化や欧米諸国の東アジア進出について考察し、理解する。 ③アヘン戦争に清が敗れたことが、江戸幕府の対外政策に与えた影響について考察する。**	a：・イギリスの三角貿易について理解できている。 ・アヘン戦争後、欧米諸国による東アジア進出が進んだことを理解できている。 b：・資料や図版などから、外国船出没の理由について考察し、表現できている。 ・江戸幕府が対外政策を変化させた理由について考察し、表現できている。 c：・アヘン戦争の経緯とこれが日本に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	4 日本の開国	**①ペリー来航の背景とそれに対する江戸幕府の対応を理解する。 ②開国や通商開始にあたり、日本が結んだ条約の特徴について考察し、理解する。 ③開国後における洋学の発達を理解する。**	a：・ペリー来航の背景とそれに対する江戸幕府の対応を理解できている。 ・開国から通商開始に至る経緯を理解できている。 ・洋学の発達を具体例とあわせて理解できている。 b：・資料や図版などから、江戸幕府が開国だけでなく通商も開始した理由やこの時期に結んだ諸条約の特徴について考察し、表現できている。 c：・ペリー来航から通商開始に至る歴史について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			

	５ 日本開国期の国際情勢	①日本が開国した頃、世界各地で数多くの戦争や反乱がおこっていた理由を考察し、理解する。 ②世界各地でおこっていた戦争や反乱が、開国後の日本に与えた影響を考察し、理解する。	a:・「西洋の衝撃」に対するアジア諸地域の反応について理解できている。 ・列強が非欧米世界へ進出する一方で、たがいに対立することもあったことを理解できている。 b:・資料や図版などから、太平天国の蜂起・第２次アヘン戦争を経て中国の政策がどのように変化したかということについて考察し、表現できている。 ・日本が開国後も比較的安定した対外関係を維持できた理由について考察し、表現できている。 c:・開国期の国際情勢が日本に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	６ 開国後の日本社会	①開港が当時の社会にどのような影響を与えたかを考察し、理解する。 ②開港前後における日本の政治状況について理解する。 ③対外貿易の影響が倒幕運動にどのように結びついたのかを考察し、理解する。	a:・開港後の社会混乱について理解できている。 ・開港前後の時期に将軍後継者問題など国内の政治混乱があったことを理解できている。 b:・資料や図版などから、開港が社会に与えた影響について考察し、表現できている。 ・対外貿易と倒幕運動の関係について考察し、表現できている。 c:・開港と倒幕運動の関係について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	７ 市民革命と	①18世紀後半以降の欧米諸地域で市民革命がおこった背景について考察し、理解する。 ②アメリカ合衆国の独立以後、大西洋を囲んだ諸	a:・自然法思想や社会契約説の概要について理解できている。 ・アメリカ独立やフランス革命の概要と両者の関係を理解できている。 ・「自由」「平等」という概念が			

	国民統合	**地域で革命や独立運動が連鎖したことを理解する。 ③フランス革命とナポレオンの活動が国民国家形成を促したことを考察し、理解する。**	近代自然法の思想から生まれたことを理解できている。 b：・資料や図版などから、自然法思想・社会契約説と市民革命の関係について考察し、表現できている。 ・ナポレオンの征服活動が被征服地に与えた影響について考察し、表現できている。 c：・市民革命と国民統合の関連性について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	8 明治維新	**①江戸幕府の滅亡から明治政府成立の過程を理解する。 ②明治新政府がどのようにして天皇中心の新国家を建設したかを考察し、理解する。**	a：・大政奉還から王政復古の大号令を経て戊辰戦争がおこった過程を理解できている。 b：・大政奉還をおこなった徳川慶喜の思惑とこれに対する倒幕派の反応について考察し、表現できている。 ・資料や図版などから、明治政府の政策の新しい面とかわらなかった面について考察し、表現できている。 c：・明治維新の意義について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	9 富国強兵と文明開化	**①明治政府の進めた富国強兵の具体的な内容を理解する。 ②欧米の産業技術の導入が日本の文化や生活に与えた影響について考察し、理解する。**	a：・徴兵令・地租改正・殖産興業の概要について理解できている。 ・文明開化の具体的な内容を理解できている。 b：・資料や図版などから、文明開化による変化について考察し、表現できている。 c：・富国強兵や文明開化が日本に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			

	１０　日本の明治初期の外交	①明治初期の日本が抱えていた外交課題について考察し、理解する。 ②明治政府の外交が欧米と近隣諸国とでは異なっていたことを理解する。 ③明治初期の外交によって、日本の領域が画定したことを理解する。	a:　・不平等条約の解消が大きな課題であったことを理解できている。 ・近隣諸国との外交を具体的な事例にもとづいて理解できている。 b:　・資料や図版などから、明治初期の外交の特徴について考察し、表現できている。 c:　・明治初期の外交と日本の領域が画定したことについて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	１１　大日本帝国憲法の制定	①自由民権運動が始まった背景やその後の展開について考察し、理解する。 ②大日本帝国憲法が制定される過程と憲法の内容を理解する。 ③大日本帝国憲法の特徴について考察し、理解する。	a:　・自由民権運動の展開について理解できている。 ・大日本帝国憲法の制定過程や憲法の内容を理解できている。 b:　・資料や図版などから、自由民権運動が始まった背景について考察し、表現できている。 ・資料や図版などから、大日本帝国憲法の特徴について考察し、表現できている。 c:　・自由民権運動の展開と大日本帝国憲法制定の関係について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	１２　日本の産業革命と日清戦争	①明治期の日本で進展した産業革命の背景や特徴について考察し、理解する。 ②日清戦争がおこった背景と戦争の経過および講和条約の内容を理解する。 ③日清戦争に勝利した日本に対する列強の反応について考察し、理解する。	a:　・明治期の日本で進展した産業革命の概要を理解できている。 ・日清戦争の原因と結果を理解できている。 b:　・資料や図版などから、産業革命による生産様式の変化や貿易への影響について考察し、表現できている。 ・資料や図版などから、日清戦争の原因や当時の国際関係について考察し、表現できている。 c:　・日本における産業革命の進展や日清戦争の経過について、見			

			通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	１３　帝国主義	**①第 2 次産業革命と帝国主義の関係を理解する。 ②帝国主義時代における世界分割の特徴や列強間の国際関係の再編を考察し、理解する。 ③中国は独立を維持していたが、勢力圏の形成という形で列強の進出を受けていたことを理解する。**	a:・第 2 次産業革命の進展には植民地や勢力圏獲得が必要であったことを理解できている。 ・帝国主義時代のおもな分割対象がアフリカと太平洋海域であったことを理解できている。 ・列強の中国進出とこれに対する中国側の反応を理解できている。 b:・資料や図版などから、帝国主義時代の世界分割の特徴や現代の諸問題との関連について考察し、表現できている。 ・列強間における国際関係の再編がおよぼした影響について考察し、表現できている。 c:・帝国主義時代の世界分割と国際関係の変化について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	１４　日露戦争と韓国併合	**①日露戦争から韓国併合に至る過程について理解する。 ②日露戦争の勝利がアジア諸地域に与えた影響について、中国を具体的な事例として考察し、理解する。 ③日清戦争と日露戦争の時期に日本が不平等条約の改正に成功したことを理解する。**	a:・日露戦争の一因に韓国をめぐる日本とロシアの対立があったことを理解できている。 ・日露戦争の経過とポーツマス条約の内容について理解できている。 ・不平等条約改正の過程について理解できている。 b:・資料や図版などから、20 世紀初頭の東アジアをめぐる情勢について考察し、表現できている。 ・日露戦争での勝利が、列強支配下にあったアジア諸民族に与えた影響について考察し、表現できている。 c:・日露戦争とその影響について、見通しをもって学習に取り組			

			もうとしている。			
2	1 大衆運動の芽ばえ	①日露戦争後における日本の東アジア進出と列強の反応について考察し、理解する。 ②日露戦争後の世界的な大衆運動について、具体的な事件に即して理解する。 ③大衆運動と大正デモクラシーとの関係について考察し、理解する。	a：・日露戦争後に日米関係が悪化した背景の 1 つとして日本の東アジア進出があったことを理解できている。 ・第1次ロシア革命や日比谷焼打ち事件を大衆運動の表れとして理解できている。 ・第1次護憲運動に始まる大正デモクラシーの概要を理解できている。 b：・資料や図版などから、日本の東アジア進出に対する列強の反応について考察し、表現できている。 ・資料や図版などから、大衆運動と大正デモクラシーの関係について考察し、表現できている。 c：・大衆運動の展開と社会の変化について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	グループ協議やペアワークによる意見交換および発表・リアクションペーパー・レポートなどを総合的に評価
	2 第一次世界大戦	①第一次世界大戦がおこった背景について考察し、理解する。 ②第一次世界大戦の開戦から終結までの経過を理解する。 ③第一次世界大戦の「総力戦」としての性格について考察し、理解する。	a：・第一次世界大戦開戦直前の国際関係を理解できている。 ・第一次世界大戦の経過を具体的な事件とあわせて理解できている。 ・「総力戦」の内容を理解できている。 b：・資料や図版などから、第一次世界大戦に至る国際関係について考察し、表現できている。 ・資料や図版などから、「総力戦」の意味と第一次世界大戦が総力戦となった要因を考察し、表現できている。 c：・第一次世界大戦の概要や性格について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			

	3 第一次世界大戦と日本	①世界恐慌がおきた原因とその後の各国の対応について考察し、理解する。 ②1920 年代の日本の経済状況について考察し、理解する。	a：・日英同盟が参戦の口実となったことや二十一カ条の要求のねらいについて理解できている。 ・大戦景気、戦後恐慌の特徴について理解できている。 b：・資料や図版などから、日本が参戦する理由について考察し、表現できている。 ・資料や図版などから、大戦景気から戦後恐慌に転じた要因について考察し、表現できている。 c：・第一次世界大戦と日本の関連について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	4 ロシア革命とその影響	①社会主義の特徴とこれが誕生した背景を理解する。 ②ロシア革命がおきた原因と革命の経過について考察し、理解する。 ③ロシア革命に対する欧米諸国の反応とロシア革命が世界に与えた影響について考察し、理解する。	a：・社会主義の誕生と工業化の関係について理解できている。 ・ロシア革命の経過とソ連の成立について理解できている。 ・ロシア革命の影響で世界各地に共産党が結成されたことを理解できている。 b：・資料や図版などから、ロシア革命がおきた背景について考察し、表現できている。 ・資料や図版などから、ロシア革命の影響について考察し、表現できている。 c：・ロシア革命とその影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	5 社会運動の広がり	①第一次世界大戦後の世界で人々の権利意識が高まった背景について考察し、理解する。 ②権利意識の高まりのなかで日本でも普通選挙が実現したことを理解する。 ③米騒動以後、日本国内でも多様な社会運動が展開したことを理解する。	a：・人々の権利意識の高まりが参政権の拡大につながったことを理解できている。 ・日本国内の多様な社会運動の展開について、具体的な事例とあわせて理解できている。 b：・資料や図版などから、米騒動のおきた背景や広がりについて考察し、表現できている。 ・資料や図版などから、日本の社会運動の多様性について考察し、			

			表現できている。 c：・権利意識の高まりと社会運動の広がりの関係について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	6 国際協調	①ヴェルサイユ体制とワシントン体制の特徴を理解する。 ②ヴェルサイユ体制がドイツに与えた影響について考察し、理解する。 ③第一次世界大戦後の世界における日本の国際的地位の変化を理解する。	a：・ヴェルサイユ体制とワシントン体制の特徴を主導した国々の動向とあわせて理解できている。 ・ヴェルサイユ体制下でドイツの復興が一定程度進んだことを理解できている。 ・日本の国際協調について具体的な事例とあわせて理解できている。 b：・資料や図版などから、ヴェルサイユ体制がドイツに与えた影響について考察し、表現できている。 c：・第一次世界大戦後における国際協調の広がりについて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	7 アジアの民族運動	①第一次世界大戦後のアジア諸地域における民族運動について、地域ごとの特徴を考察し、理解する。 ②アジアの諸地域の民族運動が、その後の歴史に与えた影響について考察し、理解する。	a：・アジア諸地域の民族運動の特徴を地域ごとに具体的な事例とあわせて理解できている。 ・アジア諸地域における民族運動に対する列強の対応を具体的な事例とあわせて理解できている。 b：・資料や図版などから、第一次世界大戦後のアジア諸地域における民族運動の広がりについて考察し、表現できている。 ・イギリスの多重外交の問題点と現代に与えた影響について考察し、表現できている。 c：・第一次世界大戦後におけるアジア諸地域の民族運動やその影響について、見通しをもって学			

			習に取り組もうとしている。			
	8 大量生産・大量消費社会	①第一次世界大戦後におけるアメリカ合衆国の経済的繁栄が大量生産・大量消費社会を生み出したことを理解する。 ②大量生産・大量消費社会の抱える負の側面について考察し、理解する。 ③第一次世界大戦後における日本の都市化と都市を中心とした生活や社会の変化を理解する。	a：・アメリカ合衆国に始まる大量生産・大量消費社会の特徴を具体的事例とあわせて理解できている。 ・日本における都市化の影響を具体的事例とあわせて理解できている。 b：・資料や図版などから、大量生産・大量消費社会の抱える負の側面について考察し、表現できている。 c：・大量生産・大量消費社会の特徴やこれがもたらした影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	9 世界恐慌	①世界恐慌がおきた原因とその後の各国の対応について考察し、理解する。 ②1920 年代の日本の経済状況について考察し、理解する。	a：・世界恐慌がアメリカ合衆国から始まったことを理解できている。 ・世界恐慌に対する各国の経済政策を具体的な事例とあわせて理解できている。 ・日本は 1920 年代の慢性的な不況のなかで世界恐慌の影響を受けたことを理解できている。 b：・資料や図版などから、世界恐慌の深刻さや各国の対応について考察し、表現できている。 c：・世界恐慌と各国の対応について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	10 独裁勢力の	①第一次世界大戦後のヨーロッパでファシズムと呼ばれる政治体制が成立した原因とその特徴について考察し、理解する。 ②独裁政権が人々の支持を	a：・ファシズム体制が成立した国とこの体制の特徴を理解できている。 ・スターリン支配下のソ連も独裁体制にあったことを理解できている。			

	台頭	得た要因とその過程や影響について考察し、理解する。 ③スターリン支配下のソ連の政治体制を理解する。	b：・資料や図版などから、ファシズム体制が成立した背景や人々の支持を得た要因について考察し、表現できている。 ・ファシズム体制の特徴とスターリン支配下のソ連の共通点と相違点について考察し、表現できている。 c：・ファシズムに代表される独裁体制が台頭した原因やその後の経緯について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	11 日本のアジア侵出	①袁世凱の死後、中国国民党を中心に国内の統一が進められた過程を理解する。 ②中国統一の進行に対する日本の反応を考察し、理解する。 ③日本で軍部が台頭した背景とその影響を考察する。	a：・中国の統一が国民党を中心に進められたことを理解できている。 ・日本は統一の過程だけでなく統一後の中国に対しても様々な干渉を加えたことを具体的な事例とあわせて理解できている。 b：・資料や図版などから、中国統一に対する日本の干渉やその影響を考察し、表現できている。 ・日本において軍部が台頭した背景について考察し、表現できている。 c：・中国統一の進行と日本のアジア侵出の関係について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	12 第二次世界大戦	①第二次世界大戦のおきた原因をドイツの領土拡大と関連付けて理解する。 ②第二次世界大戦の経過をドイツの行動を中心に理解する。 ③第一次世界大戦と第二次世界大戦の共通点と相違点について考察する。	a：・ナチ党政権下のドイツが進めた領土拡大がヨーロッパの国際関係を不安定なものにしたことを理解できている。 ・ドイツが占領地やユダヤ人、スラヴ系の人々に対しておこなったことを理解できている。 b：・資料や図版などから、第二次世界大戦に向かう国際関係の特徴やドイツの行動について考察し、表現できている。			

			・第一次世界大戦と第二次世界大戦の共通点と相違点について考察し、表現できている。 c：・第二次世界大戦の特徴と戦争の経過について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	13 第二次世界大戦と日本	①太平洋戦争勃発に至る経緯を理解する。 ②日本の戦争目的と占領地における政策を考察し、理解する。 ③戦局の悪化に対する日本政府や軍部の対応と国民生活の変化について理解する。	a：・日本の中国侵出がアメリカ・イギリスとの対立を深め、太平洋戦争が勃発したことを理解できている。 ・日本政府や軍部が戦争に関する不都合な情報を隠していたことを理解できている。 b：・資料や図版などから、日本が太平洋戦争を始めた理由について考察し、表現できている。 ・資料や図版などから、「大東亜共栄圏」の理念と実際の占領政策との違いを考察し、表現できている。 ・資料や図版などから、日本政府や軍部の情報統制と国民生活について考察し、表現できている。 c：・第二次世界大戦と日本の関係について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	14 第二次世界大戦の終結	①ヨーロッパ戦線でイタリアとドイツが敗戦に至った過程を理解する。 ②日本が敗戦に至った過程を理解する。 ③第二次世界大戦による被害や犠牲について考察する。	a：・連合国が戦争終結までに開催した会談の概要について理解できている。 ・ドイツとイタリアが敗戦に至る過程を理解できている。 ・日本が敗戦に至る過程を理解できている。 b：・資料や図版などから、第二次世界大戦による被害や犠牲について考察し、表現できている。 c：・第二次世界大戦の終結過程ついて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			

	15 戦後国際秩序	①国際連合とブレトン=ウッズ国際経済体制による戦後秩序の特徴を理解する。 ②国際連盟と国際連合の共通点と相違点について考察し、理解する。 ③敗戦国における戦後処理の特徴について地域ごとに理解する。	a：・第二次世界大戦後の国際秩序の特徴について理解できている。 ・敗戦国における戦後処理の特徴を地域ごとに理解できている。 b：・資料や図版などから、国際連盟と国際連合の共通点と相違点について考察し、表現できている。 ・資料や図版などから、敗戦国における戦後処理の違いについて考察し、表現できている。 c：・戦後国際秩序の特徴や問題点について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	16 冷戦の始まり	①冷戦前のヨーロッパにおける政治状況を理解する。 ②ヨーロッパにおける冷戦開始の背景とその後の東西両陣営の動向について考察し、理解する。 ③冷戦がアジアの国家建設にも影響を与えたことを理解する。	a：・第二次世界大戦後のヨーロッパで、社会主義への共感が生まれていたことを理解できている。 ・ヨーロッパにおける冷戦の推移を具体的な事例とあわせて理解できている。 ・冷戦がアジアの国家建設に与えた影響を具体的な事例とあわせて理解できている。 b：・資料や図版などから、ヨーロッパにおける冷戦の推移と東西両陣営の対応について考察し、表現できている。 c：・冷戦の開始が同時代の国際社会に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	17 日本の戦	①GHQによる占領政策の特徴を理解する。 ②戦後改革の目的と成果について考察し、理解する。 ③日本国憲法の制定過程や	a：・日本には間接統治が適用されていたことを理解できている。 ・戦後改革の内容を具体的な事例とあわせて理解できている。 ・日本国憲法の特徴について三			

	後改革と日本国憲法	憲法の特徴について理解する。	原則をもとに理解できている。 b：・資料や図版などから、戦後改革の目的と成果について考察し、表現できている。 ・大日本帝国憲法と日本国憲法の相違点について考察し、表現できている。 c：・日本の戦後改革の内容と日本国憲法制定について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	18日本の独立	①東アジアにおける社会主義の台頭が占領政策の転換をもたらしたことを理解する。 ②朝鮮戦争と日本の独立との関係を考察する。 ③サンフランシスコ平和条約による日本の独立とその後の問題点について考察し、理解する。	a：・占領政策が経済的自立と政治の安定を優先させるように転換されたことを理解できている。 ・サンフランシスコ平和条約の締結と同時に日米安全保障条約が結ばれたことを理解できている。 b：・資料や図版などから、朝鮮戦争と日本の独立との関係について考察し、表現できている。 ・資料や図版などから、サンフランシスコ平和条約や独立後の日本の課題について考察し、表現できている。 c：・日本の独立に至る経緯と独立後の課題について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
3	**1第三世界の登場**	**①第二次世界大戦後におけるアジア諸地域の独立過程を理解する。 ②アジア・アフリカ諸国の独立過程で、生じた問題について考察し、理解する。 ③アジア・アフリカ諸国が第三世界として連帯した背景について考察し、理解する。**	a：・アジア諸地域の独立過程を地域ごとに理解できている。 ・独立の過程で印パ紛争やパレスチナ問題など現在まで続く問題も生じたことを理解できている。 ・非同盟主義の概要について理解できている。 b：・資料や図版などから、欧米による植民地支配がアジア諸地域にもたらした影響を考察し、表現できている。	定期試験における知識問題	定期試験における資料読み取りなどの応用問題	グループ協議やペアワークによる意見交換および発表・リアクションペーパー・レポートなどを総合的に評価

			・アジア・アフリカ諸国が第三世界として連帯した背景について考察し、表現できている。 c：・第三世界の登場と国際的な影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	2 冷戦の固定化と「雪どけ」	**①冷戦構造の拡大と固定化が核軍備拡大競争につながったことを理解する。 ②「雪どけ」が東西両陣営に与えた影響について考察する。 ③ラテンアメリカと冷戦の関係を理解する。**	a：・冷戦構造の拡大と核軍備拡大競争の過程を理解できている。 ・反核兵器運動の概要について理解できている。 ・ラテンアメリカと冷戦の関係を理解できている。 b：・資料や図版などから、「雪どけ」が東西両陣営に与えた影響を考察し、表現できている。 c：・冷戦の拡大と固定化が同時代の国際社会に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	3 冷戦の展開	**①「雪どけ」からスターリン批判に至るソ連の政策転換の概要を理解する。 ②スターリン批判や平和共存に対する東側陣営の反応について理解する。 ③キューバ危機を境に核軍縮が徐々に進んだ理由を考察し、理解する。 ④スエズ戦争の概要について理解する。**	a：・スターリン批判に触発されてハンガリー事件がおきたことを理解できている。 ・ソ連の政策転換に反発した中国では、文化大革命によって毛沢東が権力を握ったことを理解できている。 ・スエズ戦争が他の中東戦争とは違う性格を有することを理解できている。 b：・資料や図版などから、キューバ危機のおきた原因とこれが国際社会に与えた影響について考察し、表現できている。 c：・冷戦の展開と世界各地の動向について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			

	4 55年体制と安保闘争	①冷戦構造が戦後日本の政治に与えた影響について考察し、理解する。 ②日本の国際社会復帰を軸に独立後の外交の特色について理解する。 ③新安保条約をめぐる安保闘争の経過について理解する。	a：・保革対立や「逆コース」の概要を理解できている。 ・55 年体制の内容と意義を理解できている。 ・日本が国際社会に復帰する過程を理解できている。 b：・55 年体制が成立する背景について考察し、表現できている。 ・資料や図版などから、安保闘争が高揚した原因について考察し、表現できている。 c：・保守勢力と革新勢力の対立点について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	5 高度経済成長の光と影	①高度経済成長の過程を理解する。 ②高度経済成長による日本の人々の生活様式や意識の変化を考察する。 ③高度経済成長のひずみやその対策について考察し、理解する。	a：・高度経済成長の過程を理解できている。 ・高度経済成長の負の側面として地域間格差や生活環境の悪化の問題が生じたことを理解できている。 b：・資料や図版などから、高度経済成長による人々の生活や意識の変化について考察し、表現できている。 c：・高度経済成長の光と影について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	6 ベトナム戦争とアメリカ	①ベトナム戦争が北側の勝利に終わった要因について考察し、理解する。 ②アメリカ国内の公民権運動とベトナム反戦運動が連動していたことを理解する。 ③ベトナム戦争に苦戦したことからアメリカの対東アジア政策が転換したこと理解する。	a：・ベトナム戦争の特徴と戦争の経過を理解できている。 ・アメリカ国内の公民権運動がベトナム戦争と連動していたことを理解できている。 ・アメリカの対東アジア政策の転換が米中接近や沖縄返還をもたらしたことを理解できている。 b：・資料や図版などから、ベトナム戦争が北側の勝利に終わった背景について考察し、表現できている。			

			c：・ベトナム戦争がアメリカに与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	7 経済構造の変化	**①ドル=ショックがおきた原因と国際経済の変化を理解する。 ②第 1 次石油危機の背景と影響を考察し、理解する。 ③第 2 次石油危機の原因を理解する。**	a：・ドル=ショックの概要と国際経済に与えた影響を理解できている。 ・1970 年代前半の経済危機への対応の一つがサミットであったことを理解できている。 ・第 2 次石油危機をイラン情勢との関係から理解できている。 b：・資料や図版などから、第 1 次石油危機と中東戦争の関係について考察し、表現できている。 c：・1970 年代の経済危機の概要と西側諸国の対応について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	8 日本の経済大国化	**①日本が安定成長の時代に経済大国化した過程を理解する。 ②日本の経済大国化と貿易摩擦の関係について考察し、理解する。 ③安定成長からバブル景気に至る過程とバブル景気崩壊後の経済の低迷について理解する。**	a：・貿易黒字の増大が省エネや技術革新によるものであったことを理解できている。 ・貿易摩擦の意味を理解できている。 ・製造業が衰退する一方、IT 産業が勃興したことを理解できている。 b：・資料や図版などから、日本が経済大国化する過程や貿易摩擦の発生について考察し、表現できている。 c：・日本の経済大国化の過程とそれにともなう対外関係の変化について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	9 アジア	**①アジアで経済成長を成し遂げた国や地域の特徴について考察し、理解する。**	a：・アジアの経済成長には地域的な偏りがあることを理解できている。 ・NIES や ASEAN の概要について			

	の経済成長	②NIES や ASEAN の概要を理解する。 ③発展途上国の一部が成功したことから生じた新たな問題を理解する。	理解できている。 ・南北問題と南南問題の違いを理解できている。 b: ・資料や図版などから、アジアの経済成長について考察し、表現できている。 c: ・アジアの経済成長の特徴や問題点について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	10 社会主義の停滞と新自由主義	①社会主義が停滞した原因について考察する。 ②新自由主義の特徴と問題点を理解する。	a: ・社会主義停滞の原因には経済だけでなく政治的な抑圧もあったことを理解できている。 ・社会主義的な国家運営への疑問が西側諸国における新自由主義の台頭につながったことを理解できている。 ・新自由主義に立脚した政策を国ごとに理解できている。 b: ・資料や図版などから、社会主義停滞の原因について考察し、表現できている。 c: ・社会主義の停滞と新自由主義の対等の関係について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	11 冷戦の終結	①ゴルバチョフの改革と東ヨーロッパ諸国の民主化の連動を考察し、理解する。 ②冷戦の終結がソ連の解体につながったことを理解する。 ③ヨーロッパとは異なり東アジアでは社会主義体制が維持されたことを理解する。	a: ・ペレストロイカの概要や東欧革命の経過を理解できている。 ・冷戦の終結とソ連の解体との関係を理解できている。 ・東アジアで社会主義体制が維持された理由を理解できている。 b: ・資料や図版などから、冷戦の終結について考察し、表現できている。 c: ・冷戦の終結とその影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			

	12 冷戦後の地域紛争	①冷戦終結後に世界各地で地域紛争が頻発した背景について考察し、理解する。 ②世界の紛争をおさえ、世界平和を実現するために日本が果たすべき役割を考える。	a:・冷戦終結後の地域紛争について地域ごとの具体的な事例とあわせて理解できている。 ・地域紛争解決のために国際連合や日本の果たす役割について理解できている。 b:・冷戦終結後の地域紛争について地域ごとの具体的な事例とあわせて理解できている。 ・地域紛争解決のために国際連合や日本の果たす役割について理解できている。 c:・冷戦終結後の地域紛争解決のために必要なことについて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	13 地域統合	①冷戦終結後の世界で地域連合の役割が大きくなったことを理解する。 ②現代の地域連合の特徴について考察し、理解する。	a:・EU 結成に至るヨーロッパ統合の過程を理解できている。 ・ASEAN の性格が変化したことを理解できている。 b:・資料や図版などから、現代の地域連合の特徴について考察し、表現できている。 ・イギリスのＥＵ脱退の理由について考察し、表現できている。 c:・地域統合の進展と役割について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			
	14 現代世界の諸課題	①現代世界の諸課題と解決に向けての方策について考察し、理解する。 ②多文化主義や少数者の権利確保の理念を理解する。	a:・現代社会の諸課題を分野ごとに具体的な事例とあわせて理解できている。 ・多文化主義や少数者の権利確保の動きが誕生した背景を理解できている。 b:・資料や図版などから、現代社会の諸課題や深刻な状況を考察し、表現できている。 c:・現代社会の諸課題の解決に向けて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			

	15 日 本 の 諸 課 題	**①55年体制崩壊後の日本の政治の大まかな動きをバブル景気崩壊後の経済状況と関連付けながら理解する。** **②現在の日本が抱える諸課題を知り、可能であれば歴史的経緯もふまえて問題解決の方法を考える。**	a: ・55年体制崩壊後の政界再編の概要について理解できている。 ・バブル景気崩壊後の不況によって生じた諸問題について理解できている。 ・現代の日本が抱える諸課題を分野ごとに具体的な事例とあわせて理解できている。 b: ・資料や図版などから、現在の日本が抱える諸課題を解決する方向性を考え、表現できている。 c: ・現代の日本が抱える諸課題の解決に向けて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度